

# 宣言



日本労働総同盟京都聯合會々々大會と迎へて

現下世界の大勢を觀察するに固々に於てその程度の差あるも更にその過程に一進一退あるは大同小異を免れず労働組合の依りて依つて進めて産業の結構繁栄を期すものなりとの思想を普及し社会主義経済を基盤とする新秩序に向つて進んぬる。従つて労働組合を無視して一國の産業は成立しなぬ即ち我々は最も重要な地位を占めつゝあるのである。

総同盟年表の主張たる健全なる組合主義の格昇精神は我國労働運動の主流を支配してゐるのである。我京都聯合會は蓋々その徹底を計り着々具体化する事に努力する責任を痛感する。組合主義には尙んやや 一、盡く盡く此組合の經營の合理化し内務を整備し組合の諸機能を深く労働者生活の中に徹底せしめることである。

かくして組合は労働階級當面の權益を擁護すると共に新社会に於ける産業秩序を形成し得るものがある。

労働組合組織を母体依りて經營合理化を目的として改善すること 展開するべき  
 又聯合會を計制度会股下置つて改訂を行ふ合理的基盤の上で開業を期す事 報告するべき

産業階級を代表すること  
 我々は此の項目實現のたりの努力を傾注し進んで労働組合運動を型々の基礎の上で建設せんとするものとするものとせしめんとす。

日本労働総同盟京都聯合會 々々大會



# 綱領

- 一 我等は同朋相愛の理想に遵ひ識見の開發技術の進歩徳性の強養を固り以て自己の向上と完成を期す
- 一 我等は労働者の自主的組織を訓練により労働条件の維持改善並びに福利の増進を期す
- 一 我等は國情に立脚し資本主義の根本的改革を固り以て健全なる新社会の建設を期す